【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（中学校用）

都道府県名	愛媛県

Ⅰ　学校の概要（平成１５年４月現在）

学校名	八幡浜市立八代中学校					
学　年	１年	２年	３年	特殊学級	計	教員数
学級数	４	４	５	１	１４	２８
生徒数	１３２	１５１	１６７	６	４５６	

Ⅱ　研究の概要

１．研究主題

基礎・基本を確実に身に付け、自ら学び自ら考える生徒の育成

２．研究内容と方法

(1)　実施学年・教科

１・２・３年生　数学　英語 ・　生徒の理解の状況に差が出やすい教科であるため。

(2)　年次ごとの計画

平成14年度	○　テーマ 基礎・基本を確実に身に付け、自ら学び自ら考える生徒の育成 －基礎・基本の確実な定着をめざして－ ○　研究の見通し（仮説） 一人一人の習熟の程度を的確に把握し、それに基づいて個に応じた学習指導を工夫すれば、基礎・基本を確実に身に付けた生徒が育成できるであろう ○　研究の内容・方法 数学科を中心に取り組み、基礎・基本の定着を図る支援を工夫する。 (1)　指導方法の工夫 ・　習熟の程度に応じた指導を行うための実態把握 ・　単元指導計画の工夫 ・　少人数による習熟の程度に応じた学習の実施 (2)　指導に生きる評価 ・　判定基準の作成と活用 ・　診断的、形成的、総括的評価の工夫 (3)　教材の工夫・開発 ・　習熟の程度に応じた学習教材の作成 ・　考える力を育てるための学習教材の工夫

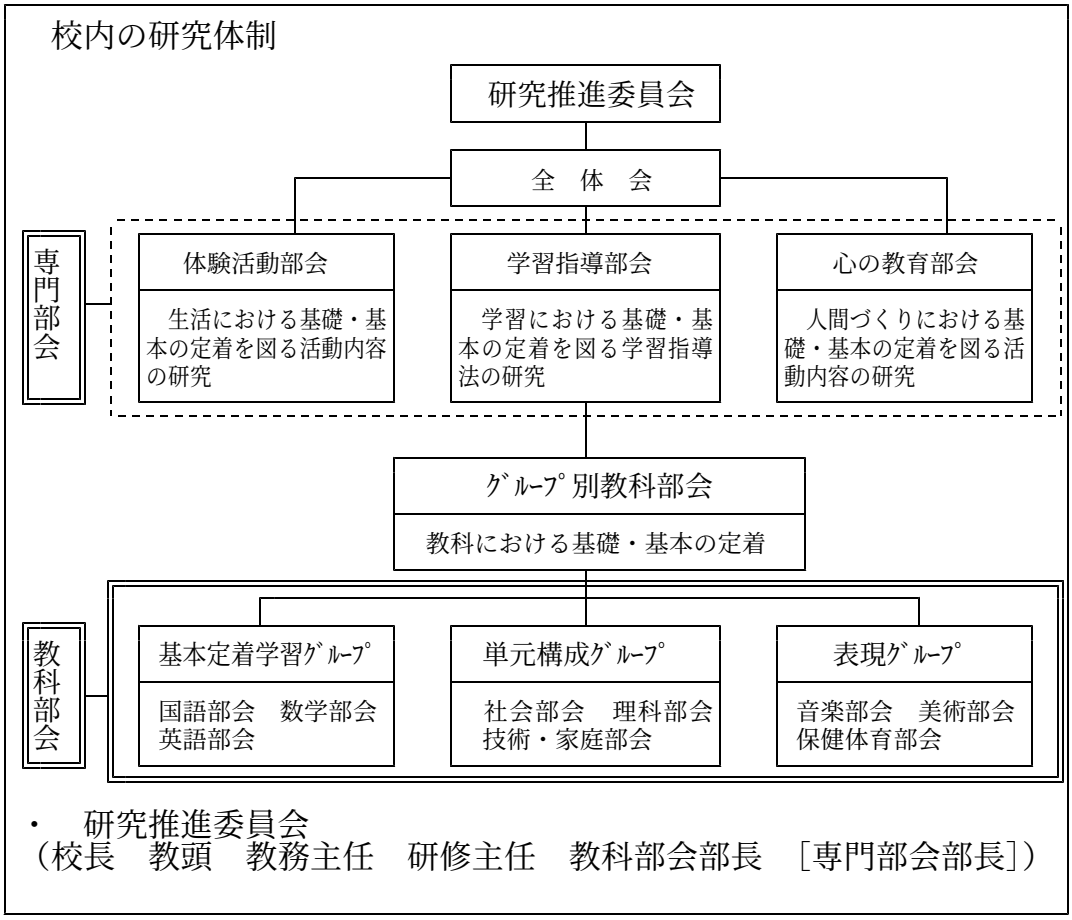
	○　テーマ 基礎・基本を確実に身に付け、自ら学び自ら考える生徒の育成 －基礎・基本の確実な定着をめざして－ ○　研究の見通し 一人一人の習熟の程度を評価・分析し、それに基づいて個に応じた学習指導法を工夫すれば、基礎・基本を確実に身に付けた生徒が育成できるで

平成15年度	あろう。 ○　研究の内容・方法 　数学科の取組を全教科に広げるとともに、基礎・基本の確実な定着を図り、向上心を持って学習に取り組む支援を工夫する。 (1)　指導方法の工夫 ・　習熟の程度に応じた学習を位置付けた指導計画の作成と実施 ・　少人数による習熟の程度に応じた学習の実施 ・　一単位時間における習熟の程度に応じた学習の実施 (2)　指導に生きる評価 ・　個に応じた指導を行うための診断的評価の工夫 ・　習熟の程度を図るための形成的評価の工夫 ・　自己評価能力を高めるための評価法の研究 (3)　教材の工夫・開発 ・　習熟の程度に応じた学習教材の作成及び活用 ・　考える力を育てるための学習教材の作成及び活用

平成16年度	○　テーマ 　基礎・基本を確実に身に付け、自ら学び自ら考える生徒の育成 －考える力の育成をめざして－ ○　研究の見通し 　問題解決的な学習や発展的な学習を工夫していけば、基礎・基本をもとに、自ら学び考える力を身に付けた生徒が育成できるであろう。 ○　研究の内容・方法 　全教科の取組の充実を図るとともに、生徒一人一人が自己の習熟の程度を的確に把握し、確かな学力の向上に意欲的に取り組む支援を工夫する。 (1)　指導方法の工夫 ・　習熟の程度に応じた学習指導の実施 ・　考える力を向上させるための学習指導の工夫 (2)　指導に生きる評価 ・　習熟の程度をはかるための形成的評価の工夫 ・　自己評価能力を高めるための評価法の工夫 ・　考える力をはかるための評価の工夫 (3)　教材の工夫・開発 ・　習熟の程度に応じた学習教材の活用 ・　考える力を育てるための学習教材の活用及び改善

＊　平成１５年度からの新規校については、平成１５、１６年度の計画について記入すること。

(3)　研究推進体制



Ⅲ　平成１５年度の研究の成果及び今後の課題

１．研究の成果

２年次の研究実践を通して、学力の向上に当たっては「個々の学習状況の把握」及び「個に応じた指導の充実」の２点が重要な要素であることが分かってきた。そこで、この二つの事項を解決するための方法として「習熟の程度に応じた学習指導の在り方」及び「習熟の程度に応じた学習の時間で用いる教材集の作成」に焦点を絞って研究を進めてきた。

(1)　習熟の程度に応じた学習指導の在り方

・　一斉学習やグループ別学習で行った基礎・基本の習熟の程度をテストによって客観的な数値で習熟の程度を図り、その結果に基づいて「基礎・基本学習コース」と「発展学習コース」の２コースで習熟の程度に応じた少人数学習を行っている。１年次は、この時間を基礎・基本学習終了後にまとめて３時間行う「まとめどり型」で実施していたが、本年度は単元の学習内容を考慮して３時間を分散させた「分散型」で実施した。「分散型」での実施の方が、理解の不十分な生徒にとっては、基礎的・基本的事項を確実に定着させながら次の段階に進んでいくことができ、効果的である。

・　「基礎・基本学習コース」「発展学習コース」の２コースに分け、さらに一人一人の学習状況に応じて、グループ学習を行ったり、学習プリントを作成したりした。習熟の程度に応じて少人数学習を行い、さらにきめ細かい学習支援を行ったことで、生徒は「分かる喜び、解ける喜び」などの充実感や満足感を味わわせることができるようになってきた。

(2)　習熟の程度に応じた学習の時間で用いる教材集の作成

・　本校では、研究テーマにせまるために２年次より「基礎・基本学習コース」「発展学習コース」で用いる教材集を作成している。「理解度Ｃの生徒をＢに」「理解度Ｂの生徒をＡに」という視点で、生徒の実態に合った教材づくりに取り組んでいる。

「基礎・基本学習コース」で用いる教材は、知識・理解及び表現・処理の力を身に付けさせるために、教科書の例題レベルの問題を数多く作成し、簡単な問題を反復していく中で、解き方をマスターさせている。

「発展学習コース」で用いる教材は、基礎的・基本的事項を身に付けているという前提で作成しており、一つの問題を時間をかけて解いていき、見方や考え方などの思考力を高めていくような問題である。

両コースの教材作成を通して、教師自身がより生徒の実態にあう教材づくりを行うようになり、これがきめ細かい学習指導を行うことができるようになってきた。

(3)　生徒の変容

・　１年次に実施した「ＣＲＴ観点別の習熟度診断テスト」の結果を分析したところ、「知識・理解面の習熟率は、約68％」であるのに対して「思考力の習熟率は、約50％」という結果が出ている。２年次の「習熟度診断テスト」の結果が出ていないので、学力の向上度についての分析は、できていないが、観点別評価に基づいて作成している定期テストの比較からは、顕著な学力の向上は見られないが、若干の向上は見られる。

２．今後の課題

２年次の研究実践を通して次の５点が課題としてあげられる。

(1)　「考える力」を高めるための指導の在り方の工夫
(2)　「習熟の程度に応じた学習」で用いる教材の工夫
(3)　学力の向上を図るための小中の連携の在り方の模索
(4)　「習熟の程度に応じた学習」以外の指導法の工夫
(5)　保護者への啓発

Ⅳ　学力把握のための学校としての取組

(1)　定期的な観点別の習熟度診断テストの実施（４月・３月の計２回）
(2)　観点別評価規準に基づいた定期テストの実施（５月・７月・10 月・12 月・２月の計５回）
(3)　観点別の単元テストの実施（各単元終了時）
(4)　判定基準（自己評価表）に基づいた形成的評価、総括的評価の実施

Ⅴ　フロンティアスクールとしての研究成果の普及

１　開催実績
(1)　平成 15 年度　第１回学力向上地区協議会（学力向上フロンティア研究会）
　ア　日　時　　平成 15 年６月
　イ　場　所　　八幡浜市立千丈小学校
　ウ　対　象　　八幡浜管内小中学校教員・学力向上地区協議会会員
(2)　平成 15 年度　第２回学力向上地区協議会（学力向上フロンティア研究会）
　ア　日　時　　平成 15 年 11 月
　イ　場　所　　大洲市立大洲南中学校
　ウ　対　象　　八幡浜管内小中学校教員・学力向上地区協議会会員
(3)　平成 15 年度　第３回学力向上地区協議会
　ア　日　時　　平成 16 年１月
　イ　場　所　　八幡浜市役所
　ウ　対　象　　学力向上地区協議会会員

２　開催予定
(1)　平成 16 年度　第１回学力向上地区協議会（学力向上フロンティア研究会）
　ア　日　時　　平成 16 年６月
　イ　場　所　　大洲市立久米小学校
　ウ　対　象　　八幡浜管内小中学校教員・学力向上地区協議会会員
(2)　平成 16 年度　第２回学力向上地区協議会（学力向上フロンティア研究会）
　ア　日　時　　平成 16 年 11 月
　イ　場　所　　大洲市立大洲小学校
　ウ　対　象　　八幡浜管内小中学校教員・学力向上地区協議会会員
(3)　平成 16 年度　第３回学力向上地区協議会
　ア　日　時　　平成 17 年１月
　イ　場　所　　八幡浜地方局
　ウ　対　象　　学力向上地区協議会会員

３　普及の方策
(1)　フロンティア指定校として、研究授業の公開や研究発表を行い、学力の向上に対する取組を紹介する。
(2)　学力向上地区協議会を通して、研究の成果や研究の方向性に関する情報交換を行う。
(3)　他校の校内研修等に参加し、自校の取組を紹介する。

◇　次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】　□１５年度からの新規校　●１４年度からの継続校

【学校規模】　□３学級以下　□４～６学級　□７～９学級　□１０～１２学級　●１３～１５学級　□１６学級以上

【指導体制】　●少人数指導　□Ｔ．Ｔによる指導　□その他

【研究教科】　□国語　□社会　●数学　□理科　●外国語　□音楽　□美術　□技術・家庭　□保健体育　□その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】　●有　□無